

としま 議会だより

令和2年6月 発行（年4回発行）Toshima Village Council 2020.06 NO.89



議会だよりの表紙を飾る写真募集中です

島の風景や行事など魅力ある一枚をお待ちしています。お問い合わせは議会事務局まで

▲R2.6.4 中之島の様子。記録的大雨により複数の電柱が土砂に流された

令和2年度予算審査における非常用発電機整備についての質疑を本誌5pに掲載しています

TOPIX

○令和2年3月定例会

3月9日～3月18日（10日間）

- 条例の制定・改定 7件
- 補正予算 7件
- 権利の放棄 6件
- 指定管理者指定 5件
- 令和2年度予算 7件
- その他 2件

○一般質問 3件

- ・田中秀治 議員 . . . 2P.
- ・永田和彦 議員 . . . 2P.
- ・日高助廣 議員 . . . 3P.

○予算審査特別委員会

山海留学生寮の運営

○田中議員 本村では山海留学生寮が口之島と平島で運営されており、今後諏訪之瀬島でも運営が始まるが、寮監の身分について既存の里親制度の里親と同等のものかどうか、会計年度任用職員として採用する事は検討されないか。

○有村教育長 山海留学生寮の整備については、十島村立小・中学校の維持、存続を目的に、山海留学生の受け入れ態勢の充実を図るため計画し、整備してきたものである。平成3年から始まった山海留学制度について、高齢化による里親の減少が課題となってきた中で、この寮の整備と併せて、寮監を配置し運営していく方針を定め進めてきた。



田中秀治 議員

寮の管理・運営については、設置までにその財源等についても協議を重ねてきたところである。規則の中では、施設の無償貸与や運営については村と保護者からの委託料を充てることなどを定めている。また運営にあたっては、施設の補修に係る経費や生活備品（テレビ等電化製品を含む）も村負担にて運営されている。仮に、小学生3人、中学生3人の合わせて6人を受け入れる場合の委託料を試算すると、6名で月に総額50万4千円となる。この委託料で寮生の食事なども含めて寮運営をしていただくこととなる。寮監には当初より、この「運営」「経費」「費用負担」等について承諾をいただいております。寮監の身分については問題はないと認識している。

○肥後村長 過去に自宅において3名前後の山海留学生を受け入れていた方もいる。その方々は家の改修や備品の整備を自ら行ってきており、今後も寮監と従来の里親との待遇の差が出ないような体制で進めていきたい。

新型コロナウイルス対策 船内火災・災害時のフェリー訓練

○永田議員 新型コロナウイルスによる、定期船の乗船の可否について、判断はどのように行うか。また衛生管理について、乗客間の間隔をあけることや、使用した布団等の消毒などの対策は必要ないか。

○肥後村長 フェリーとしま2は長時間の航行となるため、予期せぬ事態も想定される。自己申告については呼びかけるだけでなく、渡航歴や風邪や倦怠感の症状を確認する等、より踏み込んだ方法をとっている。乗船を遠慮していたり、場合によっては、申告された症状により、本村約款の規程に基づいて行うこととしている。乗客間の間隔については、3席分の間



永田和彦 議員

隔をとって配置し、乗客が多くなってきたら、空いている3隻目の真ん中に入って頂くこととしている。船内消毒については、ドアノブや、手摺など手の触れる箇所を中心に実施している。基本的には3時間おきの実施だが、業務の間を見ても可能な限り消毒回数を増やすよう指示している。

○永田議員 船内の車両火災について、適切な消火活動は行なっていたか。また、南海トラフ地震等を想定した、緊急的な離岸や沖だしの訓練は行っているか。

○肥後村長 消火作業の反省点・問題点について協議している。視界不良により乗組員の人員把握ができなかったことは反省点。他にも装着しやすい消防服の配置、消火ホースのノズル改善などの意見が挙げられた。地震時の離岸については、フェリーとしま2の停泊中か否か、夜間か昼間かといったことや、津波到達時間によっても変わる。なお、津波到達時間が60分以上ある場合は、指定海域まで沖だしすることとしている。

村政運営・定住促進対策 小中学校の運営の在り方

○日高議員 村長の任期も満了となるが、自らが掲げた公約の達成状況について。

○肥後村長 平成28年6月定例村議会において、村民・議会・行政が一体となった「住民総参加の村づくり」を村政運営の基本理念として、「定住対策」「産業振興対策」「少子高齢化や地域づくり対策」「生活環境対策」「交通対策」「情報通信基盤対策」「行財政対策」を2期目の主要施策として所信表明した。これまで村民からのご指導・ご提言も受け、また職員の積極的な職務遂行により、2期目に掲げた公約は概ね達成しつつあると認識している。

○日高議員 近年人口減少している中で、定住促進事業の事業検証を

行い、見直しを図る必要があると思いが。

○肥後村長 国内景気が好調なことによる都市部からの移住者の減少、自治体間での移住者の争奪、併せて根底にある少子化による人口減少を踏まえると、条件不利の最たる本村にとってはまさに正念場である。質問のとおり定住促進事業の見直しも必要性を感じており、一部はすでに担当部署に指示を出している。今後はシニア世代や外国人の移住促進、また村内受け入れ組織の充実強化も図りたい。

○日高議員 人口減少時代における小中学校のあり方について伺います。

○教育長 各島に設置した山海留学受け入れ組織を十分に機能させ、島をあげて取り組みたい。児童生徒が増えることで、教職員の配置も増える。学校なくして人口増加はあり得ないと考えている。そのためにも山海留学制度は不可欠な制度であり、一層の充実を図りたい。



日高助廣 議員

議決結果

十島村議会 令和2年3月議会 議決結果

34案件を審議 全て全会一致で原案の通り可決しました

開催期間 3月9日～3月18日（10日間）

審議した案件 村長提出議案 34件

可決・採決状況 原案可決 34件

可決した主な議案

- ・令和元年度補正予算について（7件）・条例制定、改正について（7件）
- ・権利の放棄（6件）・指定管理者指定の件（5件）・その他（2件）
- ・令和2年度予算について（7件） ※予算審査については5～8ページに掲載

令和元年度補正予算

○一般会計	補正第4号	+	385,306千円	→	補正後 5,243,170千円
○国保特会	補正第2号	-	519千円	→	補正後 129,083千円
○船舶特会	補正第3号	-	48,581千円	→	補正後 1,043,562千円
○介護特会	補正第3号	-	5,164千円	→	補正後 90,520千円
○簡水特会	補正第3号	+	1,526千円	→	補正後 86,679千円
○後期特会	補正第1号	+	697千円	→	補正後 7,995千円
○診療特会	補正第3号	-	11,939千円	→	補正後 23,887千円

主な条例の制定・改正

○十島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令（令和2年政令第18号）が令和2年1月29日に公布されたことに伴い、所要の改正をおこなうもの。

○十島村手数料徴収条例の一部を改正する条例制定の件

条例の中に保険適用外であるインフルエンザ予防投与手数料を新たに追加するもの。インフルエンザ予防投与とは、家族内等でインフルエンザの感染が発生した場合に他者への感染を防ぐため、インフルエンザ予防薬を使用し、発症を予防するというもの。予防薬には、タミフル、リレンザ、イナビル等があり、手数料としては厚生労働省が定める薬剤価格として定めている。

投与対象となるのは、医師の判断が必要で、インフルエンザ患者と一緒に生活している家族、または、一緒に生活している人、インフルエンザ患者と同じ学校や職場に通う人や医療従事者などが対象となる。原則として、①65歳以上の高齢者、②代謝性疾患を患っている方、③慢性疾患を患っている方、④腎機能障害を患っている方が対象となる。

○十島村職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定の件

令和2年4月1日から新たな職として施行される会計年度任用職員については、既に任用している非常勤職員がその多くを占めていることに加え、同一の職員について年度ごとに再度の任用を繰り返すことが想定されるため、必要な改正を行うもの。

○十島村会計年度任用職員退職報奨金支給条例の一部を改正する条例制定の件

○十島村レクリエーション施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件

令和元年度地域振興推進事業の「悪石島サンドスパ整備事業」により、悪石島砂蒸し温泉の設備を整備したことから、悪石島レクリエーション施設の設備に「砂蒸し温泉」を追加し、指定管理の対象とするための一部改正である。レクリエーション施設の設備としては、炊事・トイレ棟、テント広場を備えている。



▲ 悪石島 砂蒸し温泉

○十島村山海留学生寮の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件

十島村立小・中学校の維持、存続を図るため、十島村山海留学制度による児童生徒の受入れ施設として、新たに「諏訪之瀬島寮」を追加するもの。諏訪之瀬島においては、令和元年度からの2か年計画で山海留学生寮の整備を進めていたが、今回、初年度第1期工事として留学生用の3室（4.5畳）、寮監宿舎部分（2室）、その他食堂が完成することから、令和2年4月から、山海留学生寮として運営していくこととするもの。

【総務課】

問 高度無線環境整備事業について

答 具体的な開通時期については、令和3年度末を想定している。これから住民に対しても広報等でスケジュールを周知していきたい。

問 防災行政無線整備費(デジタル化)について

答 令和元年度にデジタル化されているが、放送が流れなかったり途中で途切れるような不具合について、出張所と連絡を取りながら対処していきたい。なお、令和2年1月より出入港情報は船から直接放送できるようになっている。

問 防災用ドローン購入について

答 動画撮影時に画質の良いものを優先し、飛行時間は概ね30分、高度は150m、移動距離は18kmの飛行可能な機体を検討している。操作する出張所長については、ドローン操縦の講習の受講を予定している。

問 消防団の日々の活動について

答 定期的に消火栓の点検を確実にを行うよう通知している。また、防災専門官と共に備品のチェックリストの作成にも取り掛かっている。火災はいつ起きるか分からないので、いざという時の備えを日頃から行っていくきたい。



問 非常用発電機整備事業について

答 出張所と開発センターに設置したい。村の財源では難しいため、補助事業を活用する予定である。要望が通った際には直ぐに執行できるように既に設計業務を行っている。一方で、全国において発電機の需要が高まっており、早期発注しても今年度夏までの整備は難しいのではと想定している。導入後の維持管理については、月に1回

2回エンジンを回すことと、燃料の入替えを行うことである。加えて、1年に1回は業者による点検も入れたいと考えている。



【地域振興課】

問 中之島の飼料販売について

答 売り渡す際の料金設定として、中之島地内で販売する際は100円、中之島以外の島に販売する際は80円としている。中之島内であれば販売にあたり運賃がかからず、逆に中之島以外では運賃が発生するため、この値段設定としている。

問 営農指導について

答 月に2回程度、各島を巡回している。現在の指導員の専門である果樹の指導を主としている。各島の農作物の収穫時期に併せて訪問するようにしており、その他要請

に応じて赴いている。指導員は出張の際しか役場には来ないため、住民からの要請については役場担当者を通じて確実に繋げられるような体制をとっていきたい。

問 遊休農地対策事業(バナナの実証)について

答 中之島、宝島において行おうと計画している。バナナはふるさと納税の返礼品として特に人気が高く、積極的に行っていきたい。まずは小規模圃場を積極的に見つけて用地確保したうえで、村が条件整備を行って取り組んでいきたい。また、他の島でも希望者がいれば予算の増額についても検討したい。



問 イベント開催(コロナウイルス対策)について

答 7島巡りツアーやマラソン大会などのイベントについては

開催や実施内容を検討しなければならぬ。専門家によると、新型コロナウイルスの収束は年を越すともいわれている。今後の状況を鑑みて決断することとしたい。また仮に実施しても、自己防衛のため参加者が集まらないことも大いに想定されることから、慎重に検討を行いたい。

問 カレンダー製作事業について

答 これまで何年も作ってきた中で、写真の構図が変わり映えしなくなってきた。今年度については、住民の生活の様子などを取り入れることも検討したい。また、入札から契約までのスケジュールの都合から、定期的に毎年撮れない行事もある。住民からの写真の提供などでマンネリ化を脱却できるのではないかと考えもある。写真の提供が前提となる中で、どの程度集まるのかが未知数ではあるが、前向きに検討していきたい。

【土木交通課】

問 補助港湾建設事業（東之浜港）について

答 ケーソンの延長自体はあと1函になっている。令和元年度以降の東之浜港の事業については、ケーソンの周りに消波ブロックを据えるような断面を採用している。あと50億円程の予算がかかるので、すぐに次の段階へ行けないところではあるが、今後についても地元の見聞きながら慎重に検討を進めていきたい。

問 地籍調査について

答 現在行っている口之島について、来年度以降についても事業が完了するよう行っていきたい。また、地権者の入った地図については正本が役場にあるが、複本を出張所に置くことも検討したい。

〈船舶交通特別会計〉

問 切符販売の効率化について

答 令和2年度において、

会計時のキャッシュレス化に関する予算をあげている。10月からを予定しているが、クレジットカードや電子決済による切符の販売に対応していく。



〈簡易水道特別会計〉

問 水道の維持管理について

答 各島での統一した管理体制を目指し、貯水池の状況や流量の状況を常に注視したい。また、点検や清掃を定期的にやっていきたい。併せて、料金収入についても100%の収納となるように努めていきたい。

問 水道管の切替工事について

答 令和3年度で中之島の切替工事を計画している。総延長が650mで、概算で3億円の事業となっている。この事業に

よる料金改定などは現在のところ考えていない。なお、小宝島の淡水化施設が整備から30年以上経過している。この事業費がおよそ2億円と想定され、現在国庫事業に出来ないか相談をしております、こちらが採択された場合は、中之島の切替工事は令和4年度以降となる。

【住民課】

問 新型コロナウイルス対策について

答 令和2年度予算の編成については昨年12月時点で行ったものであり、新型コロナウイルス対策については、診療所の運営費や健康増進事業等を活用したい。今後の動向に注意しながら、財政当局とも協議していきたい。対策にあたっては、村内にウイルスを入れない水際対策に重点を置きたい。住民の危機感を醸成していくことが大事だと考えている。船内での対策など、所管課と連携を取りながら対策に取り組んでいきたい。

問 地域おこし協力隊(子ども子育て支援)の人員について

答 退職者が出ている中で、人材確保に関しては、JICAのイベントに参加したり、シングルマザー関係の組織にもアプローチしている。現状として全国的に保育士資格者の人材確保は困難となっている。補助員については学校関係者も含めて、積極的に確保を図りたい。一方で、子育てに関することであるので、ただ誰でもいいのではなく、適任かどうかを見極める面談についても回数を重ね大切にしていきたい。

問 廃自動車離島支援事業について

答 依然として、島内には放置自動車がある状況である。現在島内では36台が確認されている。持ち主については判明しているものとそうでないものがある。国からの補助も活用した行政代執行も検討している。

国民健康保険特別会計

問 人間ドック事業及び鍼灸事業について

答 予算額が減少している要因として、平成31年までは両事業とも国民健康保険特別会計で予算計上していたが、令和2年度からは75歳以上の方は後期高齢者医療特別会計で予算計上している。これにより、国保・後期それぞれで利用人数や頻度を分析できるようになった。



介護保険特別会計

問 介護予防・日常生活支援総合事業について

答 村が中心となり、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画してより多様なサービスを充実させることで地域の支え合い体制づく

後期高齢者医療特別会計

問 後期高齢者への保健指導について

答 具体的には、後期高齢者を中心にした保健指導や、重症化予防などの対策をとっていくもの。また医療費と介護を分析するシステムを使い、1人1人に合ったプランを提案していくこととした。

へき地診療所運営事業

特別会計

問 遠隔医療システムについて

答 今後整備したいとして、県へ計画をあげているものである。現在は7つの診療所と日赤病院、本庁を繋いで診療を行っているが、今回加えて県立大島病院も結ぶことと

くりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能にすることを目指すものである。住民主体の多様なサービスを支援するとともに、サービスを利用しやすい環境整備を進めていきたい。



教育委員会

問 熱中症対策・空調整備について

答 2か年事業で計画し、全島で既に整備した普通教室以外の24の教室を対象としている。今年度については口之島4室、中之島3室、諏訪之瀬島3室、平島3室を計画している。

山海留学イベント

問 増税や物価の関係で輸送費や材料代の負担が増えたことで、委託料を1万円増額している。

**新型コロナウイルス対策
を講じての議会となりました**

令和2年3月議会においては、世界的に拡大している新型コロナウイルスの感染対策として、本議会・委員会ともに全出席者のマスク着用、手指消毒の徹底が図られました。

また議場での傍聴に関しても、入場前の検温、消毒、マスク着用をお願いすることとしました。議会としても感染拡大防止に努めるとともに、また新型コロナウイルスの一日も早い終息をお祈りいたします。



▲ 予算委員会の様子
出席者全員のマスク着用を義務づけた

自治功労者の表彰がありました！

全国町村議会議長会より、永年勤続議員（町村議会議員として15年以上在職し功労のあった者）として、永田和彦議員が表彰されました。
令和2年3月9日議場にて、議長より表彰状が手渡されました。



▲ 永田和彦議員



▲ 議長より表彰状が手渡された

3月議会ライブ中継視聴者数

島名	3/9	3/10	3/11	3/18	計
口之島	0	2	0	0	2
中之島	6	0	1	0	7
諏訪之瀬島	1	4	0	2	7
平島	2	8	0	1	11
悪石島	1	3	3	1	8
小宝島	0	0	0	0	0
宝島	2	1	2	1	6
計	12	18	6	5	41

編集後記

今回の議会だよりは、3名の議員の一般質問、予算委員会のまとめを中心に編集しています。なお今号をもつて、現在の議会広報調査特別委員での発行は最後となります。たくさんの方にご覧いただきありがとうございます。

議長 松下直志

議会広報調査特別委員会

委員長 永田和彦

副委員長 日高久志

委員 前田功一

委員 日高助廣

委員 田中秀治

委員 坂元勇

委員 矢野紀道

議会事務局